

キクの病害虫の発生状況（8月上中旬）

1 白さび病

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図1）が、病斑が上位葉に発生しているほ場があるため注意してください。多湿条件が続くと発病しやすくなるので、予防散布を心掛けてください。また、本病は、キクの品種によって発病に差があるので、発病しやすい品種では、特に防除を徹底してください。

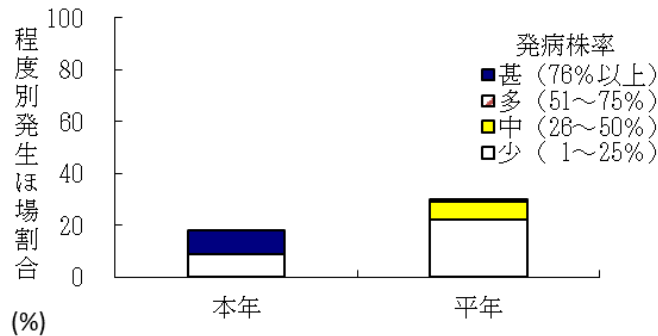


図1 白さび病の発生状況

2 アブラムシ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図2）。今後、気温の上昇に伴って急激に増殖することがあるので、ほ場をよく観察し、発生が見られる場合は早期防除を実施してください。

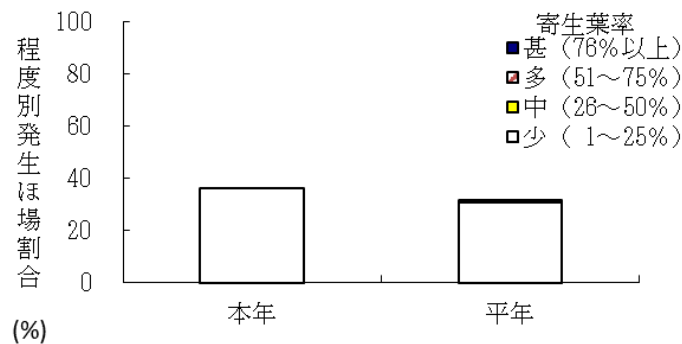


図2 アブラムシ類の発生状況

3 アザミウマ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図3）。ほ場周囲の雑草が発生源となることが多いので、除草を徹底してください。発生種がミカンキイロアザミウマの場合は、効果の高い薬剤が少ないので、薬剤の選択に注意してください。また、本種は、TSWV等のウイルスを媒介するので注意が必要です。

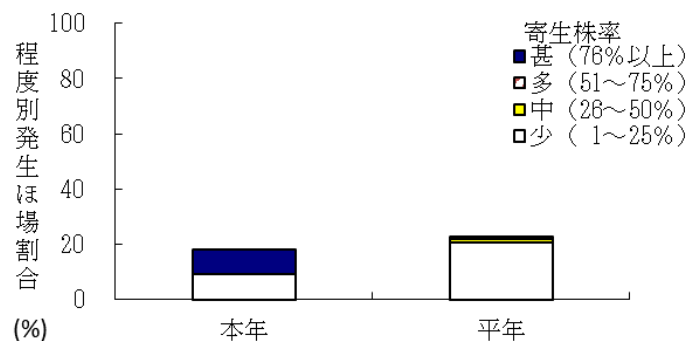


図3 アザミウマ類の発生状況

4 ハダニ類

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図4）。多発すると防除が難しいので、ほ場をよく確認して、低密度時から防除を徹底してください。薬剤防除を行った場合には、防除の2～3日後に葉裏を観察し、効果が十分でない場合には、異なる系統の薬剤で防除を行うなど適切に対応してください。

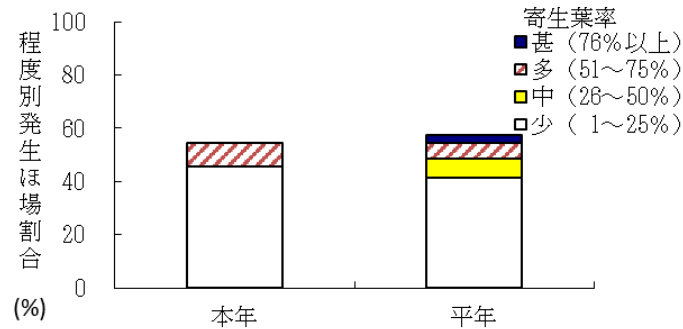


図4 ハダニ類の発生状況

5 オオタバコガ

巡回調査における発生ほ場割合は、平年並でした（図5）。フェロモントラップ調査では、伊達市、新地町、猪苗代町での誘殺数が平年より多い状況でした（図6、7、8）。幼虫が寄生する生長点付近を中心によく観察し、発生が見られた場合には防除を実施してください。

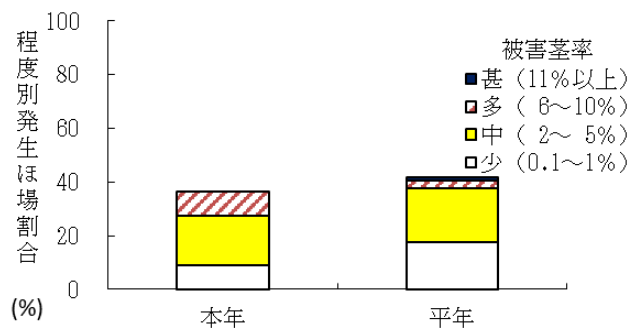


図5 キクにおけるタバコガ類の発生状況

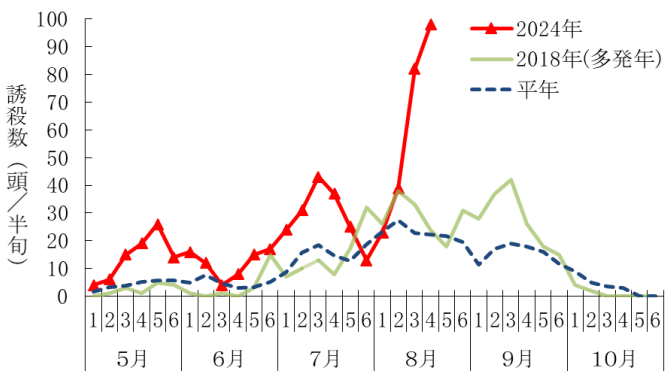


図6 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況 (伊達市保原町:キク)

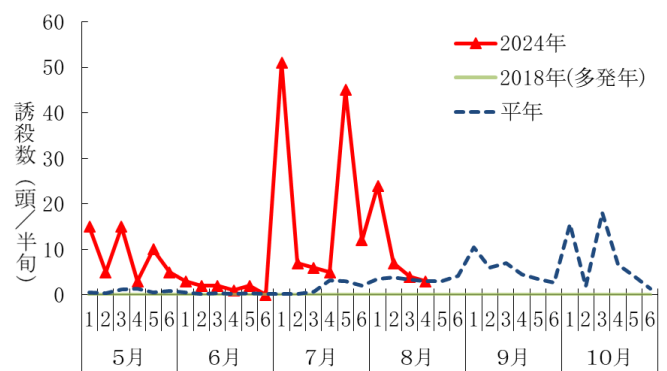


図7 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況 (新地町:キク)

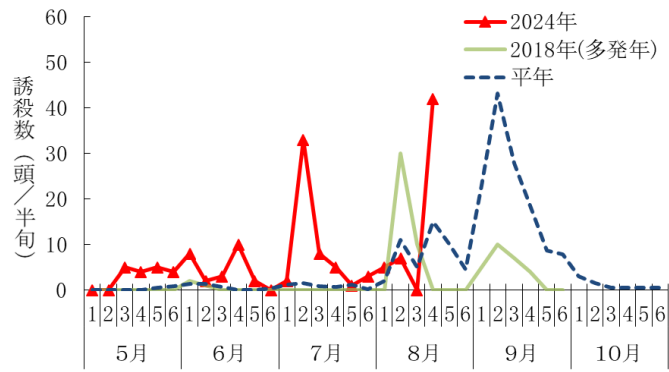
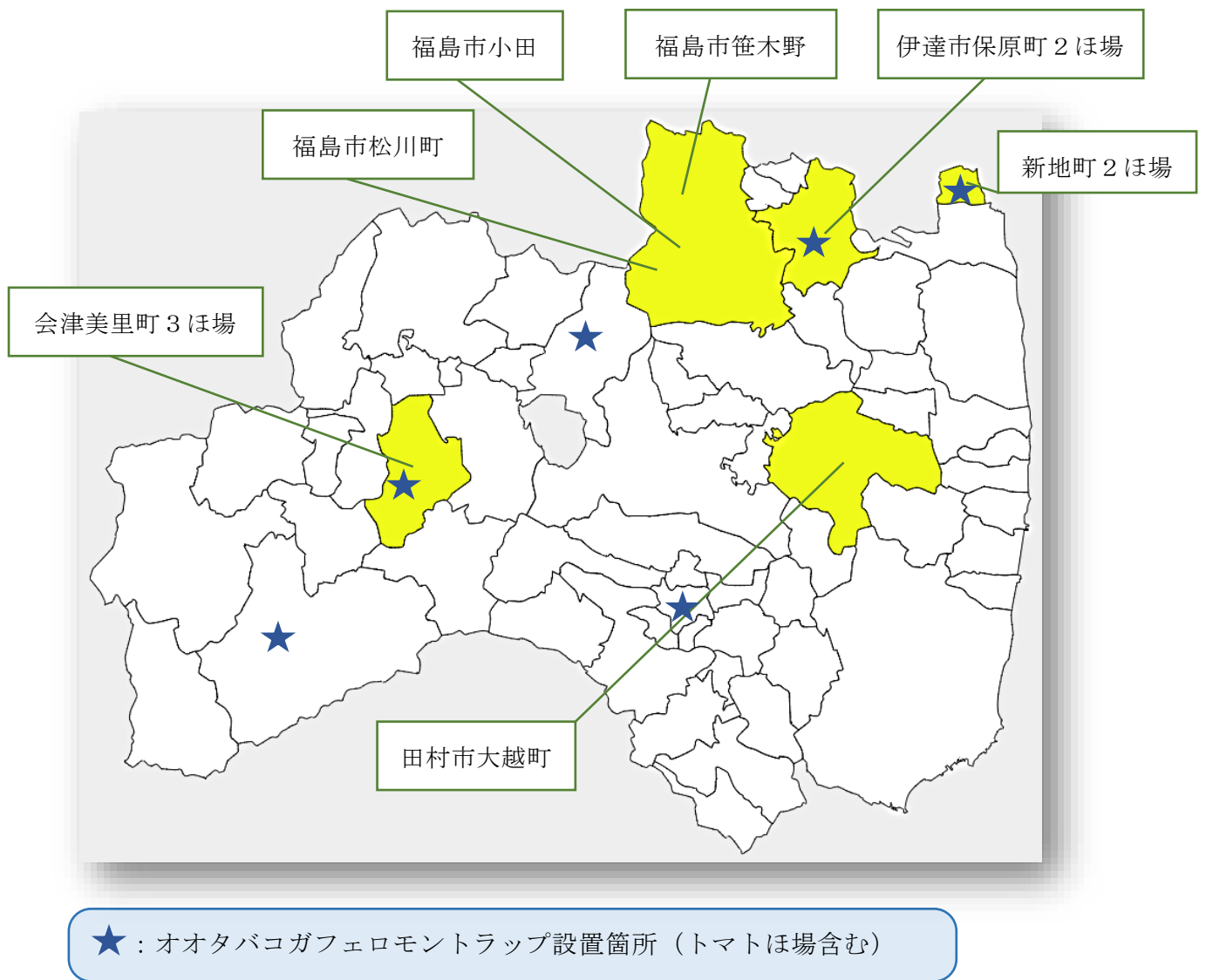


図8 フェロモントラップによるオオタバコガ誘殺状況 (猪苗代町:トマト)

※キクの巡回調査は、下記の 11 箇所を巡回調査地点としております。



● 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所まで御連絡ください。